

2018年10月19日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

株式会社丸井グループが国内小売業として初めて発行する グリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、株式会社丸井グループ(以下、丸井グループ)が、国内小売業として初めて発行するグリーンボンド⁽¹⁾(5年債100億円)(以下、本件グリーンボンド)の引受けにおいて、共同主幹事およびグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、本件グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

丸井グループでは、環境への配慮、社会的課題の解決、ガバナンスへの取り組みと、ビジネスが一体となった未来志向の「共創サステナビリティ経営」を進めています。これまで取り組んできた「すべての人」に向けたビジネスを「インクルージョン(包摂)」というテーマでとらえ直し、あわせて国連の「持続可能な開発目標」(SDGs:Sustainable Development Goals)と関連付けることで、4つの重点テーマを定めています。その1つである「エコロジカル・インクルージョン」では、環境負荷の少ない事業を推進し、低炭素社会や循環型社会の実現をめざし、自然や環境との調和をはかるエコロジカルなライフスタイルの提案を進めています。また丸井グループは、2018年7月、国際的イニシアチブである「RE100」に加盟したのを契機に、2030年までに事業活動で消費する電力に占める再生可能エネルギー由来の電力の割合を100%にする目標を公表しました。本件グリーンボンドの発行は、「エコロジカル・インクルージョン」を推進し、再生可能エネルギー100%および温室効果ガス削減目標の達成に向けた取り組みを実施するための資金調達を目的としています。

本件グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、世界的なESG評価会社であるSustainalytics(サステイナリティクス)からセカンドパーティオピニオンを取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG⁽³⁾投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債 券	名	：株式会社丸井グループ第 34 回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
取 得 格	付	：A-(R&I)
年 限	限	：5 年(2023 年 10 月 25 日償還)
発 行 額	額	：100 億円
利 率	率	：0.190% /年
払 込 期	日	：2018 年 10 月 25 日
主 幹 事	事	：野村証券株式会社、 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
グ リ ー ン ボ ン ド	・	：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
ス ト ラ ク チ ャ リ ン グ	・	
エ ー ジ ェ ン ト		

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本件グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association:ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している(第三者機関:Sustainalytics サステイナリティクス)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上